

経営比較分析表（令和4年度決算）

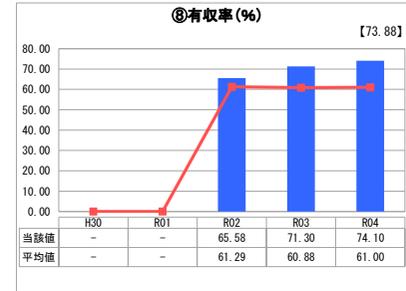
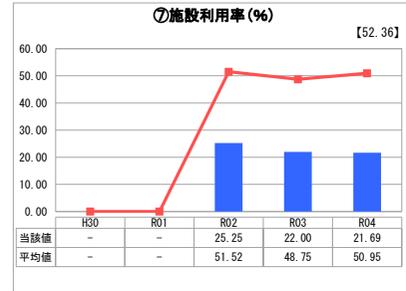
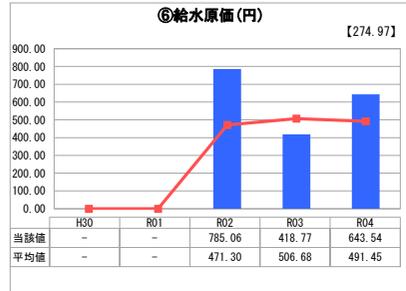
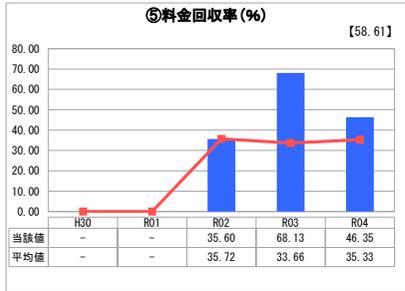
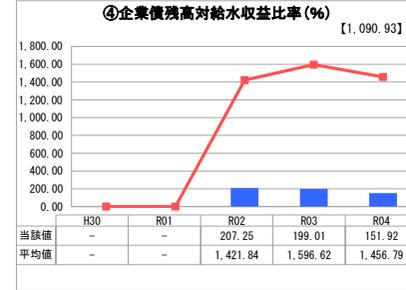
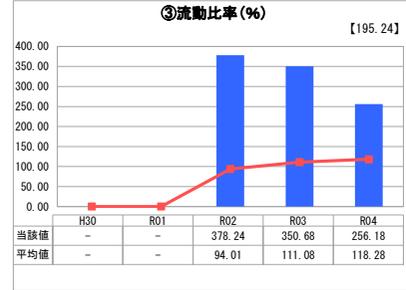
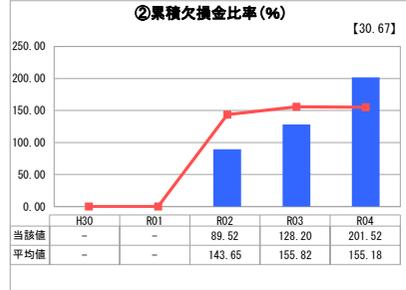
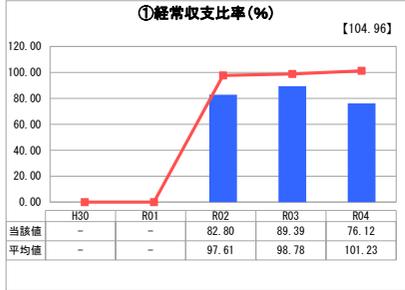
山形県 山辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	94.67	2.82	5,450	

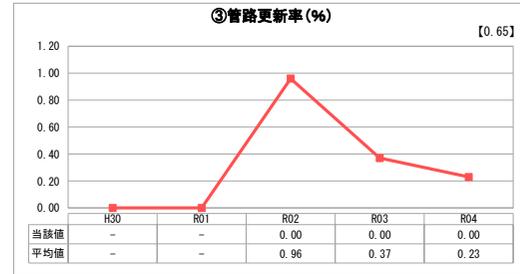
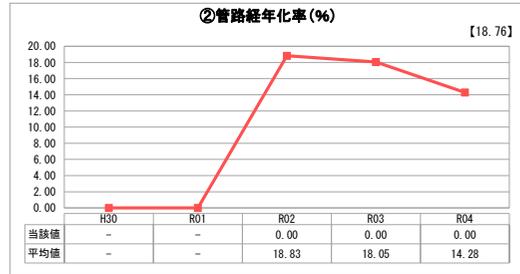
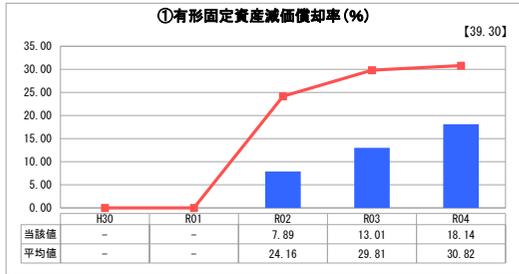
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,685	61.45	222.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
385	4.41	87.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 令和4年度の料金改定により給水量が減少した中でも料金収入が増となったが、営業費用の増加や長期前受金入りの減による経常収益の減が大きく影響した。健全経営の水準とされる100%を下回っているため、支出の削減等の経営改善を図っていく。
 - 毎年の純損失が積み重なり年々増加傾向にある。本年度に料金改定を行ったため、当面は支出の削減等の経営改善を図っていく。
 - 類似団体と比較しても高く、短期的な支払いは高い水準にはあるが、年々流動資産が減少し、流動負債が増加傾向にあるため注視する必要がある。
 - 類似団体と比較しても低く、適正な経営ができていていると考える。
 - 類似団体と同等以上の水準であるが、100%を下回っている。前年度からの減少要因は修繕費の増加にある。引き続き適切な料金収入の確保と費用削減に努める。
 - 類似団体よりも高い水準にあり、給水区域の人口が減少し、継続的に有収水量が減少する見通し。維持管理費に大きな変動は無いが有収水量の減により給水原価は年々増加する傾向にある。
 - 施設利用率は減少傾向にあり、経常費用を抑えるためにも、次期の施設更新時には適切な規模になるよう、ダウンサイジングの検討を行う。
 - 類似団体平均以上の数値であり増加傾向にあるが、必要に応じ配水管内の漏水箇所を特定し修繕するなど、配水量削減の対策を講じ、数値を100%に近づけたい。
- ### 2. 老朽化の状況について
- 平成10年に供用が開始され、施設及び管路の老朽化が進んでおり、一部耐用年数が超過した機械設備を使用している。異常が発生した場合は、ただちに原因の究明と修理等をその都度実施しているが、管路からの漏水の場合には管路の法定耐用年数が超過していないため、新たな管路に更新ということではなく、修繕としての入れ替えて対応する。定期的な点検と更新により施設の長寿命化を図り、投資の平準化に繋げたい。

全体総括

給水人口の減少に伴い有収水量の減により、給水収入が減り続けることが大きな課題であり、経営状況はますます厳しくなることが予想される。また、管路更新等については財源の確保や受益者負担の点からも困難が予想されるが、料金の改定の定期的な検討により、適正な料金収入の確保を推進し費用削減に努め健全経営を図るべく努力していく。